

隣人愛

love your neighbor as you love yourself
「隣人を自分のように愛しなさい」—— マタイによる福音書22章39節

学園訓 Salt of the Earth, Light of the World 「地の塩、世の光」

contents

特集 在校生・卒業生メッセージ
国際交流NEWS
Topics
オープンキャンパスのお知らせ

vol. 33
2011
November.

発行  近江兄弟社高等学校
〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町177
TEL 0748-32-3444
ホームページ <http://www.ob-sch.ac.jp/>

特集

在校生・卒業生メッセージ



「志を持った学びを！」 校長 藤澤 俊樹

皆さんは何のために学んでいますか？

色々な答えが返ってきそうですが、詰まるところ、それは「幸福になるため」でしょう。では、幸福になるために必要なことは何でしょうか。私は「他人のためという視点を持つこと」と「努力家であること」の二つだと思います。言い換えれば、仲間のため、社会のためという志を持ってがんばれる人が、結局、自分も幸福になれるということです。

さらに考えれば、「他人のため」に役立つとは他人の問題を解決してあげたり、その要望をかなえてあげたりすることですから、そのための力が必要です。その力は幅広く深い「本物の学び」によって得られると思うのです。近江兄弟社高校生は、そんな豊かな「本物の学び」に積極的にチャレンジしてくれていますが、今回はその中で、キラリと輝いてくれた生徒たちを紹介します。



心をつなぐ

G2-8 中川 祐理子（玉園中学校出身）津田塾大学
高校生エッセイコンテスト 最優秀賞受賞

現代文の授業で勧められたエッセイコンテストへの応募は、私を大きく変えてくれました。満喜子先生が津田梅子先生の教え子でしたので、近江兄弟社高校で学ぶ私にとって、津田梅子先生の英文の式辞の内容は心に響き、バレー部員としてのインターハイでの経験、東日本大震災への思いとつながりました。セッターである私がつなぐことの本当の意味を考え、ボールだけでなく心をつなぐ大切さに気付いたこと、心をつなぐ役割をしてたくさんの人を幸せにしたいことをつづりました。この気持ちを多くの人に聞いてほしい、という思いでした。原稿を授賞式で読み上げたあと、一人の女性が私の側にきて、涙を流しながら「頑張ってるね」と言ってくださいました。自分の必死の言葉が人に伝わり、その方の心を動かした、と感じたとき、賞より大切なものを得ました。あの女性が流してくださった涙は私の人生の宝物の一つです。中学生の皆さんにもぜひ近江兄弟社高校で学び、私のように宝物を得てほしいです。



■在校生メッセージ



I2-1 大崎 恭平 (守山中学校出身)

ロータリークラブ交換留学
プログラムにてベルギーへ
留学中
(2011.8.20~2012.6.20)

日々発見!!

ベルギーに来てとても驚いたことは、ベルギーの高校は大学のように、授業を自分で選択できるということです。私は、スポーツ・選抜スポーツ・英語・スペイン語・歴史・理科・フランス語・選抜フランス語・宗教・数学・地理といった授業を選択しました。英語の能力は日本のはるか上をいっていて、私も英語は好きなのですが、ついていくのが大変です。フランス語の語学学校にも通っており、週に2日、3時間ずつの授業を受けています。かなり難しいですが、日に日にフランス語も話せるようになってきています。この留学の一年を通してベルギーの大学をいろいろ見て回り、海外の大学も視野に入れて進路のことを考えていきたいと思っています。これからどんな発見があるのだろうと、日々楽しみにしています。



P2-3 石橋 愛音 (八幡西中学校出身)

第65回 滝廉太郎記念
全日本高等学校
声楽コンクール出場

音楽で成長

私は小学2年生から合唱団に入り、4年生で本格的にレッスンを受けるようになりました。そして、今回の全国大会出場が決まったからの一年間は、私の声楽人生の中で一番音楽と向き合えた一年だったと思います。深く歌い込むことで、今まで見えなかった課題が発見できました。すごく大変でした。でも、私は音楽を楽しめるようになりました。この一年間が私を成長させてくれました。皆さんも、今まで一生懸命してきたことを是非続けてください。真剣に向き合ってみると見えてくるものがあるかもしれません。



G2-9 藤居 瞳 (長浜南中学校出身)

ヴォーリスデー公式
マスコットキャラクター
「チャリティくん」制作

隣人愛のシンボル『チャリティくん』

近江兄弟社学園を表現するなら「あたたかさを感じる学園」です。この学校に集まる人達は心から隣人愛を大切にしていると思います。そんなあたたかさを、より多くの人と共有したいと言う強い想いからチャリティくんは生まれました。親しみやすく、学園の校章や色を取り入れたり、名前も工夫したりと、多方面から案を考え、今の形に落ち着きました。学園の持つイメージを、そのままチャリティくんに入れられたと思っています。笑顔を絶やさず、隣人愛を大切にする象徴になってくれると良いなと思っています。



S3-6 磯部 瑛仁 (玉園中学校)

平成21年度益富地学会館主催
益富地学賞
科学奨励賞受賞

12歳で古代人の歯を発見

僕は父の影響で、小さい頃から石が好きでいろんな場所で鉱物、化石などを採集してきました。家には父の集めた石が約1万点展示してあります。12歳のとき、多賀の鍾乳洞・佐目の風穴で、滋賀県では初めて、古代人の歯を発見しました。「ずっと石と関わっていきいたい」という思いは今も変わらず、高校卒業後には、アメリカに渡って専門的な知識を学びたいです。僕の将来の夢は、新鉱物を発見して、いつか父を越えられるような人になることです。皆さんも今、自分が興味を持っているものに自信を持って、どんな荒波も乗り越えて、夢をかなえられるように頑張ってください。



※アメリカ・アリゾナ州で採集した宝石のペリドット

卒業生メッセージ

大学で様々な経験をした先輩たちが、教師になるという夢をもって、大勢、教育実習生としてまた学校に帰ってきてくれました。その中から2名の先輩のメッセージを紹介します。

疑問に思うことの大切さ



同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科
北川 卓実 (彦根市立南中学校出身)

私は大学でヒトの神経細胞に存在するタンパク質について研究しています。研究室には、世界的に最先端の研究をするための設備や、世界レベルで研究をしている先生方がいます。そしてこの環境で研究し、毎日ワクワクしています。

私は高校生のとき、漠然と生物が好きでしたが、どの大学のどの学科に行きたいといった具体的な目標の決定ができずにいました。自分にとって一番興味があることは何なのか考えていた、そんな時期に授業中に先生から「疑問に思うことの大切さ」を教えてくださいました。そして習ったことをただ暗記するだけでなく、様々なことに疑問を持ち、自分なりになぜそのようになるのかを考えるよう努力していきました。疑問に思い、答えを探していくうちに、「ヒトの身体の仕組み」に興味を持ちました。これをきっかけにして大学に進学しました。皆さんも、ぜひ受験のために暗記するだけでなく、授業で習ったことや身の回りで起きていることに疑問を持ってください。そうすることで、自分が本当に興味のあるものが理解できるようになると思います。

兄弟社高校でEnjoy Life!



関西外国語大学 外国語学部 英米語学科
國廣 朱音 (高穂中学校出身)

私が第一志望の高校・大学を決めたきっかけは、共にオープンキャンパスでした。実際にその学校の雰囲気を知ることや、模擬授業を体験することにより、行く前と行った後では、自分の気持ちに変化が起こります。私は高校・大学のオープンキャンパスに行った後、その学校に行っている自分が想像でき、行きたいという気持ちを強く持ちました。

そして、私は近江兄弟社高校で3年間を過ごしました。当時、現ICCの前身の英語インテンシブクラスに所属していました。部活は吹奏楽部でした。高校を卒業した今でも、インテンシブクラスや部活の友人とは仲良く、良い関係が続いています。さらに、友人だけではなく、先生方とも今でも交流があります。したがって近江兄弟社高校は、人と人が良い関係を築ける学校といえるでしょう。私は高校時代がとても楽しかったため、教育実習生としてもう一度戻ってきたいと思いました。

あなたもぜひ、近江兄弟社高校ですばらしい学校生活を送ってください。



国際交流 NEWS

留学レポート I1-1 今井 千夏 (八幡中学校出身)

中学生のころからずっと憧れていた留学体験。高校に入学したら一番にやりたかったことはこの留学体験でした。留学での一番の収穫は「やろうと思えばなんでもできる」を実感したことでした。大切なのは、実行しようとする「意志と勇気」です。この留学ができたのも「絶対留学する!」という強い意志があったからだと思います。

最初は間違った英文法を使うのが恥ずかしくてスムーズに会話できずにいました。しかし、ある日「このままじゃ日本に帰ったら絶対後悔する!間違った英語でも良いから自信を持ってもっと話しかけてみよう」と決めました。また、どんなときも「伝えたい」という強い意志を持つことを心がけました。それからは、友達とジョークを言い合えたり、先生に質問したり、自分の意見をはっきり言えるようになりました。もちろん楽しいことばかりでなく、悔しいことや体調を崩す時もありました。しかし、そういった経験を乗り越えたからこそ充実した生活を送れたと思います。留学を通して英語がもっと好きになり、自分の夢をかなえたいと思う気持ちがさらに強くなりました。私をサポートしてくれたすべての人に感謝をして、この貴重な経験を活かし、自分の次への目標へ向かって進んでいきたいと思っています。



留学生紹介

8月にフィンランドから来日したユシ君は、勉強熱心で日本語もずいぶん上達しました。漢字を覚えるのは大変そうですが、「傘」や「満月」など画数の多い漢字も覚えて、周りをびっくりさせるほどです。本年度の国際高校生書道展では入選を果たしました。10月にはオープンキャンパスで日本語のスピーチをしてくれました。

I1-1 ユシ・ヴァリン (フィンランド) 滞在期間: 2011.8.23~2012.6.30

こんにちは。僕はフィンランドから来ました。17歳です。ギターを弾くのが好きです。フィンランドではムーミンが有名ですが、日本で制作されたアニメをよく見ました。私のクラスは国際コミュニケーションクラスです。みんなはとても優しく、わからないことがあると助けてくれます。好きな授業は数学と英語です。書道クラブにも入っています。書道は難しいけれど面白いです。将来はコンピュータの仕事に就きたいと思っています。一年間日本の生活を楽みたいです。



TOPICS

学部学科セミナー 10/3(月)

第1部 学部学科説明・模擬講義

第2部 大学紹介

次年度の文理選択や科目選択の季節となり、それを十分に考える機会として学部学科セミナーを開催しました。約200名の生徒が参加し、充実したセミナーとなりました。

講義内容

1	文学部 立命館大学 模擬講義	[考古学の方法] 文学部 高正龍 教授
2	理学・工学系 龍谷大学 模擬講義	[龍谷科楽教室～科学を楽しもう～] 理工学部機械システム工学科 塩見 洋一 教授
3	スポーツ系 びわこ成蹊スポーツ大学 模擬講義	[地域での健康・スポーツクラブ活動支援] スポーツ学部地域スポーツ学科 金森 雅夫 教授
4	心理学系 京都ノートルダム女子大学 模擬講義	[アイデンティティについて] 心理学部心理学科 尾崎 仁美 准教授
5	理美容・ファッション系 大阪樟蔭女子大学 模擬講義	[ヘアケアのエキスパートになろう] 学芸学部被服学科 角田 憲一 教授
6	美術系 京都精華大学 模擬講義・ワークショップ	[デザイナーになるには] デザイン学部ビジュアルデザイン科 川添 貴 准教授



生徒の声

- 「文学部＝昔の本を読む」というイメージがあったのですがそれは違うことがわかりました。
- 考古学の本当の意味がわかりました。
- 科学の楽しさを感じる事が出来た。身の回りの現象を解説したものでわかりやすかった。
- 実際に学生の方の話を聞けてよかった。
- 実習器具（ヘモグロビンの測定）を使った講義が楽しかった。
- 大学のカリキュラムや就職状況を聞けて参考になった。
- 模擬講義の話題が高校生の悩みに沿っていてわかりやすかった。
- 学校心理学についてもっと詳しく知りたいと思った。
- 美容は好きだし、興味はあるが職業にするにはたいへんなこともあった。
- 普段の睡眠時間が髪の毛の潤いや肌に関係があることを知り、睡眠時間をしっかり取りたいと思った。
- デザインという仕事の奥深さを感じた。これから国際舞台で活躍するためには、英語力とコミュニケーション能力が必要だとわかった。



第1回ヴォーリス杯ICC中学生英語弁論大会10/29(土)

国際コミュニケーション科 (ICC) の2011年新設を機に、第1回ヴォーリス杯ICC中学生英語弁論大会を開催しました。県内外の中学生20名が異文化体験や震災などの社会問題、または身近な事柄について英語で熱弁をふるいました。審査は①内容②英語力③発表態度などの観点から総合的に行われ、優勝は近江兄弟社中学校3年、竹島莉沙さんが選ばれました。幼い頃に家族と共に過ごしたメキシコでの生活から今の自分を見つめ直した体験を活き活きと発表しました。

<本選結果>

- 1位 竹島 莉沙 近江兄弟社中学校3年
Living in Mexico メキシコで生活して
- 2位 田中 詩織 草津中学校3年
Standing in Someone Else's Shoes 人の立場に立つ
- 3位 金 瑠瑩 近江兄弟社中学校2年
The First Step たった一步を踏み出す勇氣
- 4位 柳沢 裕香 彦根市立南中学校2年
What I Want to Do 私のしたいこと
- 5位 吉原 瑠花 近江兄弟社中学校2年
My Fun-Loving Grandma 私のお茶目な祖母
- 6位 中島 洸太 立命館守山中学校2年
Three Ideas We Need After the Tohoku Earthquake
震災後の日本にとって大切な三つのこと

特別賞 伊藤明日花 八幡中学校1年
Just Like Kobukuro コブクロのように...



大会結果報告

【秋季高体連】

- ☆バレーボール部 優勝
(全国春の高校バレー選手権出場決定)
- ☆弓道部
 - ・第66回 山口国民体育大会
弓道競技少年女子の部 出場 藤居 桃子
 - ・男子近的団体・個人 近畿大会出場
 - ・男子近的個人・遠的個人 優勝 下司 惇太
遠的個人 準優勝 橋角 亮介
総合団体 準優勝
 - ・女子遠的個人 準優勝 藤居 桃子
- ☆柔道愛好会
 - ・女子個人70kg級 準優勝 竹内 詩央理
近畿大会出場
- ☆バドミントン部
 - ・男子団体 第3位
山林 由樹 吉川 諒 近畿大会出場
- ☆ハンドボール
 - ・男子 第3位
- ☆水泳部
 - ・男子100m背泳ぎ 優勝 村井 伸太郎
 - ・男子200m背泳ぎ 優勝 佐藤 仁愛
 - ・男子400mリレー 優勝
 - ・男子800mリレー 優勝 男子総合 3位

オープンキャンパス 2011 WINTER

12/3

9:20～(8:30受付開始) ●学校説明 ●留学体験発表 ●入試要項と出題ポイント
●ミニ入試体験 (入試体験20分、解説30分) ●ランチタイム&キャンパスツアー
ミニ入試体験は、英・国・数より1教科を選択 ※他教科の問題・解答も持ち帰って学習できます。

※近江八幡駅から無料シャトルバス運行
(来校者全員に軽食をご用意しております。)
※個別相談をおこなっております。

学年制
学校説明会

12/17(土)・1/6(金)
いずれも14:00～